

みんなの笑顔輝くまちに

男女共同参画は、
女性だけのためにある？

男女共同参画基本法では、男性と女性が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらずなく、その個性と能力を十分に発揮することができるとする社会が男女共同参画社会とされています。

しかし社会生活においては、性別による不平等が起きています。特に女性に関しては、大事な意思決定の場に参加することができなかったり、「女性だから」と弱い立場に立たされるなど男女間の不平等を感じることが少なくないようです。このようなことから男女共同参画の考え方に対しては、女性の地位向上が目的で、女性だけが得をして男性にはメリットがないという誤解があるのも事実です。

すべての人のために
男女共同参画はあります

憲法には「個人の尊重」と「法の下の平等」がうたわれており、男女平等の実現に向けていろいろな取り組みがされてきました。少子化・人口減少社会の進行や高齢化社会など、わたしたちの生活を取り

巻く状況の変化に対応していくためには、「男は仕事、女は家庭」というような性別による固定的な役割にとらわれずに、それぞれの個性と能力を発揮できるような社会づくりが必要となっています。

無意識のうちに「男は一家の大黒柱だ」「男は弱みを見せられない」と男性が重荷を感じていることはありませんか？

知らず知らずのうちに「男はこうあるべきだ」という思いにとらわれ、家庭を振り返る余裕を失い、家族との時間を持てなくなっている人も多いのではないのでしょうか。自ら命を絶つ自殺者は、全国調査では平成10年から毎年3万人を超えています。そのうち7割以上が男性です。菊池市においても、平成20年調査で自殺者15人中12人が男性という結果が出ています。男性の自殺者が多い背景には、「男だから」という意識から辛さを抱え込んで、苦悩している状態が推測されます。

男女共同参画では、性別によって役割を固定的に振り分けてしまうことのない社会を目指しています。そのためには男女ともに自分の生き方への気づきも大切ですし、その社会の仕組みづくりも重要です。少しずつですが、男性の仕事に対する考え方も柔軟になり、男性の家事や育児への参加が広がってきています。女性のためだけでなく、すべての人にとって、男女共同参画はとても大切なことです。

菊池市男女共同参画宣言都市記念事業特集

日常生活の中で、何となく「女性としての役割」「男性としての役割」にしばられていると感じたことはありませんか？

男女が性別にとらわれず、あなたがあなたらしく生きられるようにそれぞれの個性が発揮できる男女共同参画社会であれば、生活もより豊かで実り多いものになるはずです。

旭志小学校6年1組と6年2組の子どもたち。体育の授業では、男の子も、女の子も協力して、仲の良いチームプレーを見せてくれました。

旭志小学校キャッチフレーズ
「花と歌と笑顔に満ちたぬくもりのある学校」

